第一区分／第二区分の登録

システム委員会

団体登録

団体区分		団体種別	
第一区分 （学校区分と実業団）	第一区分、第二区分の二者択一	幼児	七者択一
		小学校	
		中学校	
		高等学校	
		大学	
		実業団	
		高専	
第二区分 （上記以外）		スイミング	三者択一
		クラブチーム	
		その他	

競技者登録

競技種別	競泳	飛込	水球	シンクロ	日本泳法	OWS（*）
<第一区分団体所属の競技者> ・競技種別で所属は変えられない ・競技種別毎に登録費がかかる						
	(例)Aチーム	(例)Aチーム	(例)Aチーム	(例)Aチーム	(例)Aチーム	(例)Aチーム
<第二区分団体所属の競技者> ・競技種別毎に所属が変わってもよい ・競技種別毎に登録費がかかる						
	(例)Bチーム	(例)Cチーム	(例)Dチーム	(例)Eチーム	(例)Fチーム	(例)Gチーム

競技会と団体区分

第一区分限定	第一区分／第二区分混在
全国中学校大会	
日本高等学校選手権大会	全国JOCジュニアオリンピック大会
全国国公立大学選手権	日本選手権
日本学生選手権	日本短水路選手権
日本実業団水泳競技大会	国民体育大会夏季大会
第二区分限定	
JSCAブロック大会	

第一区分／第二区分／マスターズ協会登録者混在
日本スポーツマスターズ大会

・団体番号：加盟団体番号(2桁)＋登録団体番号(3桁)
・団体種別毎に登録費がかかる
・登録団体費免除団体の登録団体番号には英文字混在
（例)中体連主催大会のみ参加団体(チーム)：14A01
（例)日本代表チーム：00A00
（例)県代表チーム：14Y01
・大学院は第二区分
・同一学校で幼稚園/小学校/中学校/高校/大学がある場合はそれぞれの団体種別で登録する。
・学校の職員、スイミングの職員が実業団大会に出場する場合は団体種別「実業団」で別に登録する。

・IDカードは第一区分、第二区分両方で発行。登録費免除選手へは発行しない。
・(*)OWSの大会参加には、OWS以外の競技種別に登録していればよい。
・水球の選手が登録団体(チーム)を変える場合はリーグ戦中は変更できない等は水球の運用で行なう。

・第一区分（学校区分と実業団）の学種と他システムとの連携

団体種別（第一区分：学校／実業団）	・学種	Web-SWMSYSで自動付与例			リザルト連携例	ランキング連携例
幼児	幼児	学年一括更新で団体種別と生年月日から学種と学年を自動付与する。（修正は手動。（従来通り））				
小学校	小学		10歳→学4年		学4	学童区分
中学校	中学		13歳→中2年		中2	中学生区分
高等学校	高校		17歳→高2年		高2	高校生区分
大学	大学		20歳→大2年		大2	大学生区分
高専	高校／大学		17歳→高2年	20歳→大2年	高2／大2	高校／大学区分
実業団	一般		17歳→一般			一般区分

・第二区分の学種の付与
→第一区分の登録がある場合は第一区分の学種と学年を自動付与。
→第一区分に登録がない場合は、生年月日から小学生/中学生/高校生相当は学種と学年を自動付与する。
大学生以上に相当する場合は学種と学年は自動付与しない。登録者が手動で付与する。

【基本的な考え方】
・Web-SWMSYSが原本、7桁IDが基本。
→Web-SWMSYSが原本（Web－SWMSYSのデータが基になる。名前の変更はWeb－SWMSYSで行なう。）
→7桁IDが基本（名前・生年月日等の変更があっても7桁IDは変わらない。一生1つ。）→記録との連携（揺りかごから墓場までの記録を管理）